

広島市立看護専門学校 令和元年度学校自己評価の概要

広島市立看護専門学校では、平成16年度から自己評価による学校評価に取り組んできました。学則第1条の2第1項「学校は、教育水準の向上を図るとともに、前条の目的を達成するため、学校の教育活動その他の学校運営の状況について自ら評価を行い、その結果を公表するものとする」に基づき、平成30年度の結果を公表いたします。

教職員による自己評価 「4：できている」「3：ややできている」「2：ややできていない」「1：できていない」の4段階評価の平均値（中央値：2.5）

- 教育理念
1 豊かな人間性や倫理的配慮をもつて、地域社会に貢献できる看護者を養成する。
2 専門職者として、自己教育力をもって自律できる看護者を養成する。
3 時代のニーズに対応し得る看護の専門的知識・技術、臨床判断能力を備えた看護の実践者を育成する。

1. 本校自己評価

配付数27 回収数27 (うち有効回収数27) N=27

Table with 5 columns: 項目 (Item), 評価内容 (Evaluation Content), 成果 (自己評価) (Results), 最頻値 (Mode), 平均 (Average), SD. Rows include 教育理念・目的, 学校運営, 教育課程, 教育活動, 学生支援, 教職員の育成, 入学・国家試験・就職, 地域との連携・社会貢献.

2. 関係者評価

<学校運営目標に関して>
・教育理念や実習目標は、臨床指導や会議等で説明を受け、共有を図っている。
・教育課程の編成及び実施・教職員の育成・地域との連携・社会貢献等、多方面にわたる視点から学校経営目標を設定しており、組織的な学校運営が行われている。
・病院の指導者会議に教員が参加し、講義や、ワールドカフェを行っており、それが意見交換のいい機会となっており、今後も連携強化に努めたい。